

JPASC Ikusanga 幾山河 Newsletter

Japanese Prefectural Association of Southern California

南加県人会協議会

No. 342
July 2017



www.JPASC.org



在ロサンゼルス日本国総領事杯

南加県人会協議会は、恒例の「在ロサンゼルス日本国総領事杯ゴルフ大会」を、2017年5月26日(金)モンテベローカントリークラブで開催した。当会の運営資金捻出と、日系コミュニティとの親睦・相互援助、日本文化プログラムの推進、災害支援などを主目的としたこの大会も今年で15回目を迎えた。

穏やかな絶好のゴルフ日和に恵まれた当日、参加者120名が和気あいあいとプレイを楽しみ、総領事杯を目指した。個人や企業、諸団体がご支援とご理解を得て、ホールインワン、サークルショット、ニアピン、イーグルなどの各賞が設けられた。嬉々交々、残念ながらホールインワン賞はお預けとなった。来年に乞うご期待！



左から：西元和彦会長、3位のアオキ ノブオさん、林和俊首席領事、優勝者のアート・デライスラさん、2位のライアン・ウィルソンさん、そして西元美代子大会委員長

キャロウェイ方式で競いあい、福島県人会から参加されたアート・デライスラさんが見事に総領事杯を手に入れた。

プレイ後の夕食会には千葉明在ロサンゼルス日本国総領事も出席された。「日系人の連携及び支援のプログラム

が組み込まれていて、総領事カップ(杯)の果たす役割がなされているようで喜びに耐えません。」との激励の挨拶をいただいた。

西元和彦会長及び西元美代子ゴルフ大会委員長は、大会を支援してくれた多くのスポンサー、商品寄贈者、参加者、そして準備段階から最後まで協力いただいたボランティア、ゴルフ部メンバーに謝意を表し、来年も参加して欲しいと呼びかけた。(文責：西元美代子/ケースピア章子)

各受賞者(敬称略)：

優勝 アート・デライスラ(福島)
2位 ライアン・ウィルソン(福島)
3位 アオキ ノブオ(宮城)

ニアピン賞

6番 イシダ シンイチ(宮崎)
9番 イシダ シンイチ(宮崎)
14番 カワグチ ジェームス(鹿児島)
16番 マツイ ケン(羅府新報)

ロングストドライブ賞

男性 3番 サエキ ブライアン(広島)
女性 3番 オーハラ イズミ(鹿児島)

ベストグロス賞

男性 サエキ ブライアン(福島県人会) 72
女性 スズキ ローレン(秋田県人会) 82

イーグル賞

1番 クニ ダイチ(新撰組)



左から：ベスト・グロス賞を獲得したスズキ ローレンさん、スズキ スズコさん、オガワ ヤエコさん、そしてシバタ ミチさんの秋田県人会女性軍！

● 7県人会合同ピクニック



6月18日(日)、石川、茨城、大分、岐阜、佐賀、東京、徳島の合同ピクニックがトランスのウィルソンパークで行われた。

30度を超える晴天のピクニック日和のもと、112名の参加者は、ソフトボール、バーベキュー、ゲームなどを大いに楽しんだ。

サックス演奏の「君が代」斉唱で始まった午前中のソフトボールは、両キャプテンがメンバーを指名するドラフト形式で、男女、大人子供の混合チームを編成した。三振やエラーの一方、大飛球のホームランや華麗なゴロさばきに一喜一憂し、6対5の接戦で終わったゲームにプレイヤー、応援者ともに実に気持ちのよい汗を流した。



午後の部では、スイカ割りやジェスチャーゲームに笑い・歓声で盛り上がり、カルビやチキンなどのバーベキューでは様々な県から持ち寄った郷土料理で賑わう中、特に岐阜名物五平餅が大人気を博した。

最後に、「来年も是非！」との参加者の熱意を三本締め託してお開きとした。

(文責:水谷ハッピー)

● 南加埼玉県人会一口サンゼルス名所・建築ツアー

LA Famous Architectural Tourと題し、ロサンゼルス市内の名所や建物を訪れるツアーを南加埼玉県人会が6月24日に行った。LAの昔と今をよく知る在住60年の当会会員がガイドになり、その映画関係の職歴を生かし、リアルなエピソードや日英の説明書つきで参加者を案内した。

イタリアン・ルネッサンス様式の鉄の飾りの見事な内装で、またブレードランナーの最後の決闘の舞台としても有名なブラッドベリー・ビルに始まり、アール・デコ調のルネ・ラリックのデザインで知られるオビアット・ビル、マイケル・ジャクソンのスリラーのミュージック・ビデオのシーンにも使用された家を含むビクトリア調の住宅がならぶキャロルストリート、サイモン・ロディアがたった一人で33年をかけて建設したワッツ・タワー、かつてはロサンゼルス最大の配布部数を誇った瀟洒なヘラルド・エグゼミネー・ビル、そして、今も流線形モダンビルの船の形を残すコココーラ・ビルなどを訪れた。



ツアーは、第二次世界大戦当時の日系アメリカ人及び日系人の歴史に重要な意味をもつサンタ・フェ鉄道(ラ・グランデ駅)を最後に訪れ、過去の出来事はあとかたもない現在の姿をみて、当時の光景に思いをはせ、終了した。

「いつも普通に通り過ぎてしまうビルや地域も、新しい発見ができた。特に、LAのtransportationの歴史と絡んでみると、過去の産業や文化の歴史に大きく関連していることがわかり興味深いツアーだった。」家族や友人、日本からのお客様にも案内してあげたい。」とは、参加者の声。

第2弾のツアーは是非皆さんもご参加ください！

(文責:マザ洋子)

● 熊本県人会ピクニック/熊本地震支援イベント



7月9日(日)に南加熊本県人会のピクニックがセリトス市のリバティパークにて開催された。真夏の空の下、大人と子供を含め約150名の参加者が集った。

今回は熊本復興支援も兼ね、支援参加費を頂き寄付を募った。沖田会長、福岡顧問、そして西元県人会協議会会長からも、熊本復興支援の過去のお礼が述べられ、これからも更なる協力と呼びかけた。

当会のランチは、会員の皆さんの暖かい手料理が豪勢に並ぶことで有名だ。おすし、混ぜご飯、いろいろな酢の物、肉団子、フライド・チキン、そして、大きな鉄板で作ってきたての焼きそば、粒粒のぜんざいがたっぷりのったカキ氷、どれも夏の野外にはぴったりのものだった。

熊本県人会民謡部の民謡、おてもやん、炭鉾節、フラメンコダンス、特賞300ドルが当たるドキドキのラッフル、子供のゲームなどを午後3時まで和気あいあいと楽しんだ。



確かに暑かったが、お米やドリンク、菓子などの入った大きなお土産を手し、そして思う存分おいしいものを食べ、子供たちはゲームに気持ちのよい汗をかき、充実したイベントだった。

楽しい企画を朝早くから準備してくださった県人会の皆様に心から感謝します。

(文責:安藤みちよ)

幾山河へのご意見やご感想をどうぞお寄せ下さい。

(Yoko.Mazza@Gmail.comまで)

「www.JPASC.org/media.html」lkusangaをクリックしてダウンロードできます。

JPASC 幾山河編集部